

2021.6.24 thu
vol. 34

福島ロータリークラブ会報



ロータリーは
機会の扉を開く

2020-21 RI会長
ホルガー・クナー

【例会場】福島市上町4-30
クラークリアンテ サンパレス
【例会日】木曜日 12:30
【事務所】福島市万世町2-5 福島銀行本店内9F
【TEL】024-536-1010 【FAX】024-536-1011

【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp
info@f-rotary.com

http://www.f-rotary.com/

本日のプログラム

●2020-21年度 委員会活動報告

会員増強委員会 吉田 大樹 副委員長	社会奉仕委員会 相良 元章 委員長	ロータリー財団委員会 菅沼 裕 委員長
情報小委員会 小原 敏 委員長	青少年奉仕委員会 菅野 晋 委員長	米山記念奨学会委員会 箱岩 偉 委員長

●会長スピーチ

五阿弥 宏安 会長

●幹事スピーチ

佐藤 美奈子 幹事

会長あいさつ



2020-21年度会長 五阿弥 宏安

今日が最後の会長あいさつとなります。ロータリー経験が浅い私としては1年前にこの場に立った時、「果たして務まるだろうか」と不安でいっぱいでした。なにしろ会長就任の1ヶ月前に郡山への異動が決まりました。新聞からテレビという全く違う世界に、それも土地も違うところに行くわけですから、仕事に慣れるだけでも大変です。その上、歴史と伝統のある福島ロータリークラブの会長が務まるか、正直自信はありませんでした。

しかも、コロナ禍の難しいクラブ運営、そして70周年記念式典という大きな行事も予定されていただけに、きっと皆さんも私以上に不安だったに違いありません。それでも何とか大きなトラブルもなく務めを果たすことができました。会員数も期首の90人から現在94名に増えました。これもひとえに会員の皆様のお陰です。

阿久津 肇パストガバナーからはロータリーの歴史も踏まえた的確なアドバイスをいただきました。70周年記念事業ならびに式典では渡辺健寿実行委員長はじめ担当委員の皆さんに大変お世話になりました。コロナ禍の難しいクラブ運営となりましたが、役員や理事、監事の皆様にも参考となるご意見を数多くいただきました。改めて深く感謝申し上げます。

事務局の小澤さんには毎日のように電話し、いろいろお願い事をしました。小澤さんの大車輪の働きがなければ、

ば、会長の仕事は全うできなかったと思います。そして一番ご苦勞をおかけしたのは佐藤美奈子幹事です。郡山にいる私を気遣って、さまざまな段取りを一から行ってくれました。本当にありがとうございます。いつでも会長になれる人材であることはもちろんですが、県内初の女性ガバナーにもなる人材です。さらなるご活躍を期待しています。

さて、ロータリーでは例会が一番大切とされます。その中でも会長あいさつには心を込めるようにとリーダー研修で教えられました。私が心掛けたのは会長あいさつではできるだけロータリー用語は使わず、自分が体験したり、学んだりしてきたことを中心にわかりやすい言葉で語ろうということでした。毎回原稿用紙3枚程度のスピーチを用意いたしました。短いようですが、すぐにテーマを思いつくこともあれば、なかなかテーマが出てこない時もあります。それでも自分の考えを文章にまとめるのは私にとっていい時間だったと思います。

残念だったのはコロナ禍で懇親の場がなかなか持てなかったことです。人が親しくなる一番の早道は一緒に食事をして、酒を飲み、歌って踊ることだと思います。オンラインでは目と耳、つまり視覚と聴覚は共有できますが、一緒に同じものを食べ、香りをかぎ、肩を抱き合うという口と鼻と手、つまり味覚と嗅覚と触覚はその場にいないと共有できません。やはり食事をとるにしながら友情を深めることの大切さをしみじみ感じた次第です。ワクチン接種も広がりつつあるので、秋以降にはぜひ懇親の場を持てればと願っています。

本日はのちほど会長スピーチの時間がありますので、よろしく願いいたします。

例会次第

開会点鐘 五阿弥宏安 会長

ロータリーソング
「福島ロータリークラブの歌」

渡邊又夫 会員

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

福島ユナイテッド基金 小銭BOX贈呈

福島ユナイテッドFC
代表取締役社長 鈴木勇人様

相良元章 社会奉仕委員長

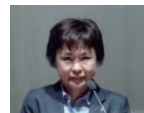


渡邊又夫 会員

退会あいさつ



元大東銀行
会長
丹羽和也 会員



東日本電信電話株
福島支店長
山貫昭子 会員



㈱ドコモCS東北
福島支店長
熊谷 謙 会員



福島民報社
相談役
高橋雅行 会員

会長あいさつ

五阿弥宏安 会長

幹事報告

佐藤美奈子 幹事

委員会報告

■例会小委員会

丹治正博 委員長

■本日のプログラム

閉会点鐘

五阿弥宏安 会長

バッジ引継ぎ



丹治正博 委員長

幹事スピーチ

(株)ダイヤモンド・スター・コーポレーション 監査役

佐藤 美奈子 幹事



一年間皆様には大変お世話になりました。「ロータリーは機会の扉を開く」、この一年は私にとって文字通り機会の扉を開く一年となりました。

福島RCに入会し3年のある日、五阿弥会長の幹事をお願いしますと突然言われ、当時はコロナもありませんでしたし、70周年記念事業はありますが、全力でみんなで支えますからという一言で五阿弥会長の幹事なら引き受けました。幹事の仕事は例会の進行くらいかなと思っていましたが、例会のセッティング、進行の他、事務局、会長と相談し、スピーチ等のお願いを一か月前にはしなくてはならず、しかも急にスピーチをする方が欠席となった場合は個人的にお願いし、会報の校正、様々な行事の案内、準備、そして報告書の作成もこなして…幹事になって初めてその業務量の多さに正直驚きました。そして、気が付いたら福島ロータリーの活動に全力を注いでいました。楽しく活動させていただいた一年でした。

右も左もわからない私を温かく支えていただいた会長はじめ役員・理事の皆様、そして会員の皆様に心から感謝申し上げます。特に、ガバナーノミニ選出、70周年記念式典開催にあたり、お忙しい中何度もご相談させていただき、アドバイスをいただいた渡辺健寿実行委員長、坪井大雄会長エレクト、相良元章副会長、いつも支えていただいた金子與志人副幹事、佐藤良智副幹事、吉田大樹副幹事、そして事務局の小澤陽子さんに心から感謝申し上げます。また、例会のたびに万全な体制でご準備いただいたSAAの長谷部会員はじめ副SAAの皆様にも感謝いたします。

伝統ある福島ロータリークラブが創立70周年を迎える今年度は記念事業をはじめジュディ・オング氏の講演会、IM、ガバナーノミニ選出、創立70周年記念式典と行事が目白押しでした。

創立70周年記念式典に向け、8月下旬から各種記念行事を実施いたしました。暑い中、汗だくで、副幹事の皆様とバックパネルを設置し、モニワザクラを運び、運動用具を会場にセットし、プレスリリースから贈呈式の次第作成、現地での事前打ち合わせ、そして当日の贈呈式と全ての記念行事をコロナ禍の中無事実施できたことは、今思えば奇跡でした。実は、事業実施にあたっては、予期せぬハプニングも多々ありました。

贈呈式一つ取ってみても、「うちにはバックパネルがありますが、ロータリーさんはありますか?」と質問され、急いで相良副会長にご相談して図案を考え発注したこと。

1回目の県立図書館だけは間に合わず、地区のパネルを使用しましたが、以後福島RCのパネルを使用し続け、後ろの背景がはえたこと。教育支援事業にいたっては、市役所で見積もりまではできていましたが発注がすんでおらず、知り合いだったオノヤスポーツさんに直接電話して納品を間に合わせていただいたこと。モニワザクラは何度も岡田会員や後藤会員に運んでいただいたこと。それでも、一度は予定があわず、私の事務所の職員の車で、天井をあけて、斜めにしながら、競馬場にサクラを運んだこと。沢山のハプニングがありましたが、奇跡的に全て順調に終わることができました。

ジュディ・オング氏の講演会は当日の朝リハーサルをしましたが、記念式典にいたっては、通しのリハーサルを2日前にも実施したこと。私自身色々な式典を行ってきましたが、リハーサルを行ったのは初めてで、立ち位置を決めたり、司会のセリフを決めたりと色々勉強させていただきました。

3月の創立70周年記念式典も実行委員会の皆様を支えていただき無事開催できました。記念誌も、丹治記念誌部会長の多大なる努力と会員の皆様の校正により、今月21日に校了としました。記念誌が膨大なページ数で、3度の校正で何度も心が折れそうになり、記念誌が夢にでてきそうになりましたが、皆様がきちんと校正され担当されている方々から次々とメールが届きましたので、「これはいけない。きちんとやらなければ…」と心を入れ替え、校正に取り組みました。きっと素晴らしい記念誌が皆様のお手元に届くと思います。委員の皆様、会員の皆様に何度もじっくり見ていただいたので、是非読んでいただけると嬉しいです。丹治記念誌部会長、本当にありがとうございました。

70周年という節目の年に幹事を仰せつからなければ、これほど多くの会員の皆様と接することもできません。事業も多く、2月には地震もあり事務局が被災するなど大変な一年でしたが、優しく決断力のある五阿弥会長のもと幹事をさせていただいたことは私にとって大変貴重な一年となりました。一人ではできないことも皆様のお力を借りると何倍ものことができることを学び、多くの方の力と知恵をお借りすることは素晴らしいと感じた一年でした。特に、福島ロータリークラブは、普段なかなかお会いすることのできない素晴らしい方々の集まりです。皆様の背中を見ながら学ばせていただいたことが多々ありました。また、他クラブの方々とも絆を深めることができ、沢山の素敵な出会いがありました。

ただ、コロナの影響で多くの例会が実施できなかったこと、夜間例会やTENの会、東京交歓会や記念行事後のお疲れ様会、そして準備していた阿久津PGの超我の奉仕賞授与式を開催できなかったことが心残りです。

一年間貴重な経験をさせていただく機会をいただきありがとうございました。心から感謝申し上げます。

● 2020-21年度 委員会活動報告



会員増強委員会
吉田大樹 副委員長



情報小委員会
小原 敏 委員長



社会奉仕委員会
相良元章 委員長



青少年奉仕委員会
菅野 晋 委員長



ロータリー財団委員会
菅沼 裕 委員長



米山記念奨学会委員会
箱岩 偉 委員長

● バッジ引継ぎ



五阿弥宏安 会長 ▶▶▶ 坪井 大雄 会長エレクト
佐藤美奈子 幹事 ▶▶▶ 金子與志人 幹事エレクト

会長スピーチ

(株)福島中央テレビ 代表取締役社長

五阿弥 宏安 会長



会長スピーチのテーマを何にしようか迷いましたが、最後ですので私を感じてきた福島の課題についてお話ししたいと思います。

私は福島に来て7年になります。お米も野菜も本当に美味しく、季節ごとにさまざまな果物もあり、私の好きな温泉も各地にあり、福島は本当に豊かな土地だと思っています。

でも地元の人あまりその良さに気付いていないのではと思うことがしばしばあります。引越して早々、「福島は何もないでしょう」と声を掛けられ、「そんなことはありません」と答えたことが何度もありました。

以前、クラブ会員だった日銀支店長の退任挨拶を思い出します。福島に着任した日に泊まったホテルのフロントで「美味しい店を教えてください」と訊ねたところ、「ありません」と言われ驚いたそうです。聞き間違いかと思い、もう一度訊ねましたが同じ答えでした。結局、近くで見つけた居酒屋に入り、とても美味しいお店で満足したそうですが、なぜフロントの人が「ありません」と答えたのか不思議だったとのことでした。

私は居酒屋巡りが好きで、福島市内のお店を数多く回りましたが、美味しいお店はいっぱいあります。もっと胸を張って「この店が美味しい」「あの店は最高」と県外の人に勧めてもいいと思いますが、奥ゆかしい県民性なのでしょう。きっと関西人だったら「隣のたこ焼きは世界一」などと胸を張るのにと考えたものです。

日本酒にしても同じことが言えます。先月、福島の地酒が新種鑑評会で8連覇を成し遂げました。私も福島に来てお酒のおいしさに目覚めた一人です。でも私が福島に来た当時、福島の酒をずらりと揃えた飲み屋はそう多くありませんでした。山形や秋田では「うちの日本酒が一番」と自慢する人が多いように思いますが、福島ではそれほど多くはないように感じます。それだけに福島のお酒を取りそえた店が最近増え、福島のお酒を自慢する人が多くなったような気がするのをうれしく思っています。

福島の特徴を一言で語るとすれば、「もったいない」に尽きます。コロナ禍になる前まで、春は桜、秋は紅葉の時期に東京から何組も人を招いてきました。花見山の素晴らしさはもちろんですが、喜多方の日中線の枝垂れ桜も見応えがあります。私が一番気に入っているのは観音寺川の桜です。紅葉の時期はスカイラインから裏磐梯、奥会津などを巡ります。必ず温泉にも入ってもらいます。案内した人はみんな福島の自然の豊かさと素晴らしさに感銘を受けます。お世辞でない証拠に、翌年は家族を連れて福島を回る人が何人もいました。でも地元の方と話す、「花見山などずっと行ってない」「温泉にも入ってないな」という人が意外と多いのです。もったいないことです。

JAの直売所の野菜は新鮮で美味しく、しかも安いので妻とよく行きますが、これも地元の人にすれば当たり前であり、「福島の自慢」と思う人は少ないようです。人は目の前にある宝物になかなか気付かないのかもしれない。

福島には3つの顔があると思っています。一般的に使われる漢字の「福島」、豊かで優しいふるさと感じさせる平仮名の「ふくしま」、そして原発事故後に一気に広まった片仮名の「フクシマ」です。片仮名の「フクシマ」には危険に満ちたまがまがしい響きがあります。私は地元メディアの役割は片仮名の「フクシマ」を漢字の「福島」へと変え、そして豊かで優しい平仮名の「ふくしま」を少しでも取り戻していくことだと思っています。

しかし、「風評被害」という壁が今なお立ちかかっています。原発事故を経験した福島に対して漠たる不安を抱いている人は今も少なくありません。福島民友新聞には週

一回、海外の放射線値が掲載されています。私が福島に来てすぐに掲載を指示したコーナーです。福島市内は0.1～0.2マイクロシーベルトですが、上海やフィンランドは0.59と何倍も高くなっています。デンマークは0.33です。帰還困難なごく一部を除き、福島の大部分は放射線の値も小さく安全ですが、世界には「福島に人は住んでいない」と思っている人も結構います。全国メディアや海外メディアも「危険」については熱心に報道しますが、安全なところについては報道することが少ないようです。その結果、「福島は危険」という誤ったイメージが拡散されていきます。「危険」を伝えるのはメディアの重要な役割ですが、同様に「安全」を伝えることも必要だと思います。

さて皆さんは「リスク・トレードオフ」という言葉を耳にしたことがあるでしょうか？日本人は安全志向が強く、リスクを取ることを避けがちだと言われます。でも、何事もリスクゼロはありません。車に乗れば交通事故のリスクがありますが、そのリスクより便利さの方が優っているから車に乗るわけです。どっちのリスクが大きいのか小さいのか、どっちが許容範囲のリスクなのかを冷静に比較して選択するのが「リスク・トレードオフ」の考え方です。あるリスクだけをゼロにしても、今度は別のリスクが発生します。要はバランスの問題といえます。

リスクの選択を誤った事例を紹介します。1991～1992年にペルーで水道水の塩素消毒によって微量の発がん性物質ができるリスクが指摘されました。ペルー政府は「これは大変」と塩素消毒をやめました。これで発がん性物質のリスクはなくなりましたが、それでハッピーとはなりません。コレラが大流行し、何十万人も感染して3000人以上が死亡したのです。微量の発がん性物質のリスクは極めて低かったのですが、「発がん性」という言葉に過剰に反応した結果、感染症の蔓延を招いてしまいました。明らかにリスクのバランスを誤ったわけです。

もう一つの事例はニューヨークで起きた9・11テロの時のことです。ジャンボジェット機がビルに突っ込むという衝撃的なテロ行為に全米が震え上がりました。そして航空機の利用を避け、長距離でも車で移動する人が増えました。その結果、その年の米国の交通事故死者数は例年より1600人以上も増えてしまいました。実は乗り物で一番安全なものは飛行機、次いで鉄道、一番危険なものは車です。しかし、航空機がビルに突っ込む衝撃映像を見た人は「航空機は危険」と過剰に反応してしまったわけです。その結果、自動車事故で死ぬ人が増えました。これも明らかにリスクのバランスを欠いた行動でした。

「不安」という心理は危険を避けるために備わった人間の能力です。でも、過剰だと実態のない不安のために判断を誤りかねません。放射線の問題がそうです。今でもこの問題では過剰に不安をあおる人がいますが、福島県内の被ばく線量では健康に全く問題はない事は様々な科学的データの蓄積から明らかです。

心配なのは処理水の問題です。トリチウム水は世界の原発で流していますが、問題になってはいません。しかし、福島第一原発の処理水については激しい反対があり、韓国や中国などは「海が汚染される」と猛反発しています。このままでは福島への風評被害はますます強まりかねません。まずはトリチウム水のリスクに関する正しい知識が不可欠です。本当は5月のクラブ例会で専門家をお呼びし、わかりやすく説明していただく予定でしたが、コロナ禍で延期となったのは残念でした。いずれにしても処理水の問題もリスクがどの程度かをしっかり知ることが大事であり、その上で海洋放出の是非について議論するのが筋なのだと考えます。

とりとめの話でしたが、私が伝えたかったことは福島が素晴らしい土地であること、そして県民にはもっと地元の良さを知り、県外の人にアピールしてほしい事、最後に福島風評を払拭するためにも私たち自身がリスクについてきちんと理解する必要があることの3点でした。ご清聴ありがとうございました。

私のひとこと

(株)福島天香園 代表取締役社長 岡田新也 会員



先日、6月25日から福島県育種の桃「はつひめ」の共選が始まりました。

「はつひめ」は早生の品種としては大玉で欠点の少ない品種です。今年の桃は春の霜害の影響で生産量が少ないですが、今のところ天候も良好で、着色、玉張りが良く、糖度も十分に乘っています。この後、お盆までは「日川白鳳」、「暁星」、「あかつき」、「まどか」と続いでいきます。私個人としては、生産量は少なく、果実は小さめですが、糖度が高い「紅国見」や「あまとう2号」が好きです。霜害や近年発病しているせん孔細菌病で桃農家の皆様も苦勞しており、果樹種苗業者、一消費者として協力していきたいと思ひます。

例会プログラムのご案内

7月 8日(木) 12:30 ~ クーラクーリアンテナサンパレス

**【通常例会】坪井 大雄 会長スピーチ
金子興志人 幹事スピーチ**
*7月「友」紹介

幹事報告

お知らせ

- 6/27(日) 県北第一分区親善ゴルフ大会が開催されます。参加される皆様、よろしくお願ひいたします。
- 6/30(水) 午後6時より福島中央RC創立記念例会が開催されます。当クラブより相良元章副会長、佐藤美奈子幹事が出席されます。

退会あいさつ



●元大東銀行
会長 **丹羽和也** 会員
(記念品・バナー贈呈)



●(株)ドコモCS東北 福島支店
支店長 **熊谷 謙** 会員
(記念品・バナー贈呈)



●東日本電信電話(株) 福島支店
支店長 **山貫昭子** 会員
(記念品・バナー贈呈)



●福島民報社
相談役 **高橋雅行** 会員
(記念品・バナー贈呈)

ニコニコBOX報告 本日の投入額 52件 **¥159,000** 累計 **¥2,759,000** [報告] 丹治正博 委員長

五阿弥 宏安 会長

本日が会長として最後の例会となりました。この1年間、皆様に支えられて何とかここまで乗り切ることができました。皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

佐藤 美奈子 幹事

皆様、一年間大変お世話になりました。

阿久津 肇 PG

①五阿弥会長、佐藤幹事さん1年間ご苦勞様でした。コロナ禍の中、通常と異なるスケジュールを強いられましたが、コミュニケーションも円滑にスムーズに運営に当たられ感謝申し上げます。

②山貫支店長の栄転を祝して。坪井大雄会員、五阿弥会長、佐藤幹事、1年間本当にありがとうございました。

山貫 昭子 会員

2年間ありがとうございました。

熊谷 謙 会員

7月1日付で東京の部署に異動することとなりました。2年3ヶ月の短い期間になってしまいましたが、皆様に温かく迎えていただき感謝いたします。ありがとうございました。

高橋 雅行 会員

大変お世話になりました。貴会益々のご発展を心より祈念申し上げます。

渡辺 健寿 会員

いよいよ、五阿弥年度の最終例会となりました。五阿弥会長、佐藤美奈子幹事の1年間のご尽力に感謝いたします。山貫さん、熊谷さん、高橋雅行さん、丹羽さん、退会は残念ですが色々とお世話になりました。

村上 守人 会員

五阿弥会長、美奈子幹事、1年間お疲れ様でした。

中川 俊哉 会員

五阿弥会長、佐藤幹事、1年間お疲れ様でした。

清水 太郎 会員

会長、幹事、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

横山 淳 会員

五阿弥会長、大変お疲れ様でした。会長あいさつ、毎回示唆に富んだわかり易いお話で楽しみでした。コロナとストレスにご注意の上、益々のご活躍を祈っています。

廣山 祐治 会員

何とか誕生月の記念に間に合いました。

長谷部 一雄 会員

五阿弥会長、佐藤幹事、コロナ禍の中でのクラブ運営大変ご苦勞様でした。

内池 浩 会員

五阿弥会長さん、佐藤幹事さん、1年間お疲れ様でした。

古保 猛 会員

五阿弥会長、佐藤幹事、コロナ禍の中一年間大変お世話になりました。

茂田 士郎 会員

今日は五阿弥会長、佐藤美奈子幹事の最後の例会です。

1年間、本当にお世話になりました。

例会での五阿弥会長のお話はいつも心に残りましたが、特に作家の五木寛之氏との対談で人生は百年だ、昔の書物は人生五十年のつもりで書いてあるので、これからは75歳を過ぎたら「海図のない航海」に出ているつもりで、自分で考えて出来る事を実行することが大切だという話、また、米国で有名なエイズの患者とインタビューして「不治の病にかかって始めて謙遜に人生を振り返った」という話が、全く正反対の話のようですが深く心に刻まれました。有難うございました。

幡 研一 会員

五阿弥会長、佐藤美奈子幹事、1年間お疲れ様でした。

コロナ禍の中、精一杯クラブ運営をしていただきありがとうございます。

草野 武夫 会員

五阿弥会長、佐藤幹事の1年間のご奮闘に敬意を表して。

佐藤 英典 会員

今年度の五阿弥会長のご挨拶は、人脈の広さ、見識の高さを感じる素晴らしいスピーチでした。一年間楽しみに拝聴しました。

大沼 健次 会員

五阿弥会長年度最終回、大変お疲れ様でした。

小澤 陽子 事務局員

五阿弥会長、佐藤美奈子幹事、1年間大変お疲れ様でした。昨年7月からの色々を思い返しますと、言葉にならないほどの感謝の気持ちでいっぱいになります。

毎年、毎年、素敵な1年です。会長をはじめとする全ての会員の皆様に感謝申し上げます。

クラブ会員より 安藤健次郎/伊藤雄治/江花 亮/岡田新也/小野悦也/小原 敏/小原孝嗣/加藤義朋/金子興志人/菅野晋/坂本壮敏/相良元章/佐藤良智/鈴木勇人/田沼紀美子/田畑建一/反後太郎/丹治正博/土屋牧雄/中川宏生/新田良一/半沢治久/藤井 守/森岡幸江/八代大輔/藪 政勝/山崎高寛/吉田大樹/渡邊又夫/渡辺泰子